

広島県出身、ゆかりの代表作家

作家名	生没年	出身地、住居地	分野	略歴	県立美術館収蔵作品
小林千古	明治3 - 明治44	廿日市市	洋画	明治21年渡米。カリフォルニア・デザイン学校に学ぶ。同33年渡仏。黒田清輝らと交友。白馬会展、東京府勧業博覧会に出品。学習院女学部助教授	O-165 ミルク・メイド O-168 自画像 O-175 裸婦正面立像 P-3 広島夏の川 など
南薫造	明治16 - 昭和25	安浦町	洋画	明治40年東京美術学校卒業。英国に留学。文展、光風会展、日本水彩展に出品。東京美術学校教授、芸術院会員、帝室技芸員	O-244 白壁の農家 O-566 坐せる女 O-43 農夫 W-46 うしろむき など
山路商	明治36 - 昭和19	新潟県 - 広島市	洋画	二科展、全関西展等に出品。広島フォルム美術協会を創立。戦前の広島における芸術運動の一人。	O-222 犬とかたつむり O-66 T型定規のある静物 O-226 自画像 D-235 人体 など
霽光	明治40 - 昭和21	千代田町	洋画	天彩画塾、太平洋洋画研究所に学ぶ。二科展、1930年協会展、独立展等に出品。美術文化協会、新人画会を結成。昭和19年応召、同21年戦病死	O-295 帽子をかむる自画像 O-205 花園の虫 O-204 コミサ(洋傘による少女) D-98 二重像 など
名井真亀	明治29 - 昭和51	広島市	洋画	本郷美術研究所に学ぶ。大正15年から昭和8年まで渡仏。サロン・ドートンヌ、アンデパンダン展に出品。帰国後上野で大個展を開く。具象から抽象まで様々な様式を試みた	O-147 道 O-148 第5福竜丸 O-632 六根清浄 O-633 憩い など
小林和作	明治21 - 昭和49	山口県 - 尾道市	洋画	京都市立美術工芸学校で日本画を学ぶ。京都市立絵画専門学校卒業後洋画に転向。春陽会に出品。昭和9年独立美術協会会員となる	O-14 隠岐白島 O-33 秋山 O-124 白馬山下の春 O-127 山湖の秋 など
児玉希望	明治31 - 昭和46	高宮町	日本画	川合玉堂に師事。大正10年帝展に入選。帝展、文展、日展の審査員を歴任。日本芸術院会員。	J-32 浅春 J-92 室内 J-75 ~ 87 新水墨画十二題 J-93 浦町の雑聞 など
奥田元宋	明治45 - 平成15	吉舎町	日本画	児玉希望の画塾に入門。昭和11年文展に入選。審査員、評議員を経て日展理事となる。昭和59年文化勲章受章。	J-112 秋戀真如 J-60 嶽 J-147 待月 J-219 青山白雲 など
平山郁夫	昭和5 -	瀬戸田町	日本画	東京美術学校卒業。昭和28年院展に入選。前田青邨に師事。仏教伝来とシルクロードをテーマに制作。日本美術院評議員、東京芸術大学学長	J-268 受胎靈夢 J-254 家路 J-133 広島生変図 J-206 黄河(晨) など
和高節二	明治31 - 平成2	向原町	日本画	川端画学校に学ぶ。平福百穂に師事。帝展等に出品。紀元2600年奉祝日本画展で文部大臣賞。向原町に住み、野に生きる人々の生活をテーマに終生制作をした	J-149 村の子供 J-153 秋日和 J-158 仔牛誕生 J-192 ひなた など
圓鐔勝三	明治38 - 平成15	御調町	彫刻	関西美術院、日本美術学校に学ぶ。昭和5年帝展に入選。澤田政廣に師事。多摩美術大学教授、芸術院会員。昭和63年文化勲章受章	SC-7 タクト SD-14 途上 SE-14 ページェント SE-22 月夜の僧 など
六角紫水	慶応3 - 昭和25	大柿町	漆工芸	明治26年東京美術学校卒業。岡倉天心、横山大観、菱田春草とともに渡米。ボストン美術館に勤務。楽浪漆器を研究。帝国芸術院会員、東京美術学校教授	HD-5 刀筆天部奏楽方盆 HD-6 銀嵌刀筆天部奏楽の図飾箱 HD-12 大空と海洋の驚異手箱 HD-17 線のすさ
清水南山	明治8 - 昭和23	三原市	彫金	明治29年東京美術学校卒業。彫金古作を研究、彫金研究科と塑像研究科を修了。法隆寺で古美術の研究。東京美術学校教授。帝室技芸員、帝国美術院会員、新立展審査員	HC-7 波に龍文水瓶 HC-8 獅子図手板 HC-9 猫金具付小児用手提 HC-10 獅子図帯留 など
三代金城一國齋	文政12 - 大正4	広島市	漆工芸	二代一國齋 中村一作に漆芸を学んだ。各地を巡って漆芸を研究、高盛絵の技法を完成させる。国内勧業博覧会等に出品。各展覧会で受賞を重ね、全国に名を知られるようになった。	HD-29 菊雲鶴文食籠 草花図高盛絵皿四方膳 へちま高盛絵煙管入 付煙草入 獅子牡丹高盛絵台付き菓子器 など
今井政之	昭和5 -	竹原市	陶芸	勝尾青龍洞の門に入り、橋部彌式に師事。日展、日本現代工芸展に出品。竹原市に登窯と穴窯を築いて作陶。日展評議員、芸術院会員。	HA-161 泥彩魚文壺 HA-1 「條」苔泥彩壺 HA-36 象嵌彩窯変磯蟹大皿 HA-17 釉彩海老飾皿 など